

事業番号	179
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	白須賀宿歴史拠点施設管理運営事業				担当課	社会教育課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	芸術文化係	
総合計画	めざすまちの姿	7 歴史・伝統・文化を生かし次世代に継承するまち					
	目標	③ 生活の中で歴史に触れる					
	成果指標	白須賀宿歴史拠点施設（おんやど白須賀）入場者数	中間目標（H27）	8,000人	最終目標（H32）	10,000人	
		再び本市に訪れたい感じる観光交流客の割合		50%		80%	
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育費	6 目 文化振興費			
	細事業	612 白須賀宿歴史拠点施設管理運営費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	白須賀宿歴史拠点施設条例					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的（何のため）	地域に残る文化財保存および白須賀地域の歴史文化の次世代への継承のため、拠点施設の管理を行う。						
内容（概要）	○おんやど白須賀の維持管理 来館者数 H21:6,584人 H22:6,020人 H23:6,054人 ○白須賀ウォークの開催 参加者数 H21.3.1 288人 H22.3.7 雨天中止 H23.3.6 248人 H24.3.4 257人						
これまでの改善・見直しの状況	・湖西市と新居町が合併したことから、H22年度より白須賀ウォークに新居宿史跡案内人の会が参加。						

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	4,488	4,408	4,462	(内訳)
	決算	4,212	4,705		
財源内訳	国庫支出金				修繕費 693
	県支出金				4,705
	地方債				
	その他				
	一般財源				
職員人件費	1,156	3,139	2,985	人工	0.4 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
活動指標	白須賀宿歴史拠点施設(おんやど白須賀)入場者数	人	目標	8,000	8,000	8,000	76%
		実績	6,020	6,054			
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
実績・改善	平成23度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おんやど白須賀の維持管理 ・白須賀ウォークの開催 					
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> ・白須賀ウォークの内容改善 					
	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースの変更、アンケート結果の反映 					
	改善点					効果額 H24-H23 (千円)	
自己評価	事業目的の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おんやど白須賀の来館者数は、未だ目標人数に及ばないが増加傾向にあり、普及しつつある。 					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・東海道の宿場として栄えた白須賀宿の歴史的な資料の保存・活用が滞る。 ・東海道を散策する市内外の利用者へのサービス低下につながる。 					
	判定	A 継続	より一層の充実を図り実施	事業主体	市		
	判定理由	白須賀宿に残る歴史的な資料を継続的に保存・活用するために必要な事業である。ただし、より一層活用するための見直し・改善が必要である。					
今後の方向性	東海道の宿場として栄えた白須賀宿の歴史拠点施設を活用し、地域住民と一体となって地域の活性化を図る。						